

## 地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所 中期計画進捗状況（平成24～26年度）

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

### ■技術支援機能の強化

- 顧客サービスセンターの創設  
⇒ 顧客へのワンストップサービスの実現
- 新たなサービスの提供
  - ・オーダーメイド依頼試験  
(H24 : 43件、H25 : 68件、H26 : 158件)
  - ・簡易受託研究  
(H24 : 84件、H25 : 99件、H26 : 113件)
  - ・インターネットによる機器予約状況の確認
  - ・利用時間延長制度の創設  
⇒ 電波暗室、人工気象室  
(H25 : 45件、H26 : 73件)
  - ・産技研ラボツアー
  - ・テーマ別機器利用講習会
  - ・オーダーメイド講習会
  - ・機器センターの創設  
「マイクロデバイス開発支援センター」(H24)  
「電子・光機器評価支援センター」(H24)  
「精密化学分析センター」(H24)  
「金属材料評価センター」(H26)

### ■「提案型」技術支援と「つなぐ」取り組み

- ものづくりエゾンチーム（平成25年創設）、ものづくりエゾンセンター（平成26年度改組）による出かける取り組み
- 自治体、大学と等による連携協定の締結

## 研究開発の推進

### ■研究開発

- 産技研プロジェクト研究の実施  
大阪の中小企業をポテンシャルアップするための新たな取り組み  
【平成25年度～】
  - ・革新型電池開発プロジェクト
  - ・最先端粉体設計プロジェクト
  - ・薄膜・電子デバイス開発プロジェクト
- 【平成26年度】
  - ・ものづくり設計試作支援工房
- 公募型共同開発事業の創設  
産技研のシーズを生かし、中小企業等と共に製品開発に取り組み事業を開始  
⇒平成26年度 5テーマ（産技研予算30,000千円）
- 競争的資金への応募  
高い採択率を維持  
⇒H24 : 37.5% H25 : 29.3% H26 : 39.0%

### 中期計画で定められた10個の数値目標において、各年度目標を全てクリア



## その他業務運営

### ■機器整備

- 新規機器の導入  
「マーケティングシート」を作成することにより、企業ニーズを考慮した機器選定を実施  
⇒ 機器使用件数の増加、受託研究、プロジェクト研究の推進に貢献
- 既存機器の性能維持  
効果的な順位付けとそれに伴う予算執行

### ■組織運営

- PDCAサイクルの実行  
⇒ 四半期報告会の実施
- 職員能力の向上
  - ・チャレンジシートによる計画的な業務遂行 (H24～)
  - ・インセンティブ制度の創設 (H24～)
  - ・新たな人事評価制度の創出 (H25～)
  - ・研究員の留学制度の創出 (H26)
- 組織力強化のための人員配置
  - ・研究職員の積極的な採用  
H24 : 4名 H25 : 10名 H26 : 11名
  - ・事務職員のプロパー化  
H25 : 2名新規採用  
H26 : 大阪府職員向け公募 (10名採用)

### ■広報活動

- ホームページの更新
- 広報チームの組織化
- 産技研PR動画の作成とアトリウムでの放映
- 社会貢献活動

### ■施設の有効活用

- コンストラクション・マネジメントシステム導入による施設の大規模改修 (H25～)
- エネルギー見える化システムの導入 (H26)
- 北側未利用地の有効活用

### ●企業の課題解決に最適な手段を提示し、問題解決と同時に数値目標を達成

#### 【支援事例】

- ☆腐敗性除染廃棄物 仮置き場用上部シート開発  
⇒ 企業共同研究、団体支援により実現 (H25)
- ☆ロボット溶接システムのヒートシンの開発  
⇒ 産技研プロジェクト研究ならびに企業共同研究により実現 (H26)

- 依頼者のニーズを聞きながら課題解決方法を組み立てていく多面的対応サービス（簡易受託研究、オーダーメイド依頼試験等）に大きな伸び  
⇒ 定型メニューによる支援から、オーダーメイドにて課題解決方法を組み立てる提案型支援へ